

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
障害者心理学		選択	2	2.3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
前川 真奈美	B304	manami.maekawa	月曜日 10:40~12:40		
授業の目的・概要	<p><目的> 本講義では、精神障害を中心に各障害の概念や定義、心理・行動特性を学習し、それらの知識をもとに適切な支援について理解することを目的とする。</p> <p><概要> 本講義では、障害に関する定義や法制度などの基礎知識を説明したうえで、障害者・障害児の心理的社会的困難の実際について解説する。さらに、それらの知識を得たうえで各事例について検討し、障害者・障害児を支援するにあたって求められる心構えや支援のあり方について理解を深める。</p>				
学習上の助言	講義内容に関する質問は、オフィスアワーの他に、講義中およびリアクションシートでも受け付ける。積極的に活用して理解を深めてほしい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	障害児心理入門 第2版/編:井澤信三、小島道生/ミネルヴァ書房/2013年 みんなで考える特別支援教育/編著:梅永雄二、島田博祐、森下由規子/北樹出版/2019年 精神疾患とその治療/編:三村将、幸田るみ子、成木迅/医歯薬出版/2018年				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	身体障害、知的障害および精神障害の基本的な概念を理解し、体系的に説明できる。			HSU(1)(2)、WP(5)	
②	障害者・障害児の心理社会的課題および望まれる支援を理解し、体系的に説明できる。			HSU(1)(2)、WP(5)	
③	共生社会を実現する意義や達成するための要因について、自分自身の考えを具体的に述べることができる。			HSU(1)(2)(6)、WP(1)(2)(3)(5)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション:障害者・障害児心理学とはどのような学問かを学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	2	
2	障害者(児)の法的定義と障害のとらえ方、障害者(児)を巡る動向について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
3	視覚障害の概要、心理・行動特性、教育・心理社会的支援について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
4	聴覚障害の概要、心理・行動特性、教育・心理社会的支援について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
5	言語障害の概要、心理・行動特性、教育・心理社会的支援について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
6	肢体不自由と病弱(身体虚弱)の概要、心理・行動特性、教育・心理社会的支援について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
7	知的障害の概要、心理・行動特性、教育・心理社会的支援について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
8	発達障害 1: ASD の概要、心理・行動特性、教育・心理社会的支援について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
9	発達障害 2: ADHD の概要、心理・行動特性、教育・心理社会的支援について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
10	発達障害 3:SLD の概要、心理・行動特性、教育・心理社会的支援について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
11	精神障害 1:統合失調症とうつ病の概要、心理・行動特性、医療・心理社会的支援について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
12	精神障害 2: パーソナリティ障害の概要、心理・行動特性、医療・心理社会的支援について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
13	精神障害 3:摂食障害、その他の精神障害の概要、心理・行動特性、医療・心理社会的支援について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
14	青年期以降の障害者(児)へのアプローチについて学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
15	これまでの学習の総括を行う。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	6	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照。				

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		70	0	0	0	30	100	
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	5	45	
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	10	40	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	講義内容の理解度について、学期末に定期試験を実施し評価する。定期試験では、専門用語に関する設問(選択式)と、講義で扱った知識を用いて架空事例の分析・考察を求める設問(論述式)を出題する。				Teams を利用して、総評や個別のフィードバックを行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
その他	①	✓	毎回の講義終了時に Teams 上でリアクションシートの提出を求め、課題への解答、講義内容に関する気づき、発見、疑問などを記述してもらう。内容の妥当性や、問題発見能力を評価する。				次回の冒頭に、課題の総評やコメントへのフィードバックを行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
備 考								
<p>* 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。</p> <p>* 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。</p> <p>* 本講義は面接授業だが、毎回、課題提出等には Teams を利用する。スムーズに使用できるように練習しておくこと。</p> <p>* 講義中に自分の考えを発表する場や学生間の意見交換の場を設ける予定である。他者の考えを知ることによって得られる気づきや発見もあるため、積極的な態度で受講することを望む。</p> <p>教員の実務経験: 公認心理師資格を有し、2年間の現場経験を有する。</p> <p>実践的授業の内容: 専門性とこれまでの経験を生かし、実践的な情報を交えながら授業を進める。</p>								